

平成29年8月7日

小野市議会議長  
山中修己様

議会運営委員会  
前田光教 ㊟

## 行政視察報告書

先般、実施しました行政視察の結果について、下記のとおり報告いたします。

### 記

#### 1 視察実施日

平成29年7月24日（月）～平成29年7月25日（火）

#### 2 視察議員

前田光教（委員長） 富田和也（副委員長） 山本悟朗 岡嶋正昭  
川名善三 加島淳 山中修己 岸本浩幸（事務局長）



#### 3 視察先及び調査内容

- (1) 京都府福知山市 「議会運営と議会活性化の取組について」
- (2) 岐阜県可児市 「議会運営と議会活性化の取組について」

#### 4 調査結果

##### [ 第1日 京都府福知山市 ]

人口 79,206人 36,052世帯（平成29年5月1日現在）  
面積 552.57km<sup>2</sup> 人口密度 約143.3人/km<sup>2</sup>

##### ●京都府福知山市

由良川流域の福知山盆地にひらける福知山市は、昭和12年4月に京都府で2番目の市として誕生しました。それ以後、数度の合併を繰り返し、市域を広めてきました。最近では平成18年1月1日に、福知山市・三和町・夜久野町・大江町の1市3町が合併し、新しい「福知山市」のスタートを切りました。

京都市からは約60km、大阪市からは約70kmの距離にあり、国道9号をはじめとする多くの国道や舞鶴若狭自動車道、JR山陰本線・福知山線および京都丹後鉄道宮福線などが通る北近畿の交通の要衝となっています。

市では地域医療の拠点である福知山市民病院の新病院全面完成（平成19年6月）や、福知山駅の全線高架開業（平成21年2月）による福知山駅周辺整備事業といった都市基盤の充実を図るとともに、恵まれた自然環境を生かしながら「未来創造福知山」多様性あふれる高次機能都市の実現をめざして、北近畿の中核都市としてのまちづくりを進めています。

歴史的には福知山市には、古くは縄文時代から人々が住んでいたことが遺跡などから明らかになっていますが、昭和61年、広峯古墳群（古墳時代）から出土した盤龍鏡は、当時の大勢力圏の出雲・丹後と畿内との接点に当たる福知山地方が交通・文化などの重要な位置を占めていたことをうかがわせます。

天正7（1579）年、織田信長の命で丹波を平定した明智光秀は、砦跡を利用して福知山城を築きました。以来、福知山は城下町として栄え、明治末期までに大阪、京都へとそれぞれ鉄道が開通し、商都として発展してきました。

## 《視察項目》 議会運営と議会活性化の取組について

### ●福知山市議会

- ・議員定数 26名（男性24人・女性2人） → 条例定数24名に
- ・平均年齢 61.8歳（最高齢74歳・最年少44歳）平成29年5月1日現在
- ・事務局 定数8人 → 実数7人
- ・2016年議会改革度ランキング20位（早稲田大学マニフェスト研究所発表）

### ●視察のポイント・要旨・要点

○主な調査事項（事前依頼） → **平成25年5月 議会基本条例の制定**

- ・議会改革検討会議
- ・政策検討会議（全議員）での政策提言、政策立案
- ・出張委員会
- ・行政視察研修報告会（公開）
- ・議員研修の充実
- ・高校生フレッシュ議会
- ・議長の議会広報活動（記者会見・地元FM放送）
- ・タブレット端末試行導入

○議会改革検討会議について

改革のエンジン役としての位置付け（月2回程度の開催）

- 会議の主な内容 → 議会基本条例に基づく議会活動の点検と検証等
- 議会改革事項に関する検討
- 議員からの提案・提言の検討



○政策検討会議（全議員）での政策提言・政策立案について

- ・議会基本条例（解説）の作成
- ・災害発生時の議会对応要領の策定
- ・常任委員会のあり方（所管事項の再編・予算決算審査の常任委員会化）
- ・自由討議実施要領の策定
- ・法96条第2項の議決事項の策定
- ・議会のICT化の検討
- ・議会改革講演会の開催
- ・議員研修会の開催
- ・高校生議会の開催
- ・政策提言、政策立案の仕組みづくり

○出張委員会について

- 実施内容・・・市民の積極的な傍聴・議会の情報発信と市民参加を促進
- 実施時期・回数・・・委員会で決定・年1回以上
- 実施場所・・・案件の内容に適した会場を選定
- 実施方法・・・関係機関からの説明・議員間の自由討議・市民との意見交換
- 周知方法・・・市議会HP・議会だより・広報カード・市LINE等

○行政視察研修報告会（公開）について

- 実施目的・・・情報公開・視察成果の反映・政策提言へ
- 実施時期・・・年2回（随時）
- 実施内容・・・委員会・会派の行政視察報告
- 実施場所・・・全議員協議会室
- 対象・・・市民・市職員・全議員
- 周知方法・・・市議会HP・議会だより・広報カード・市LINE等
- その他・・・報告書HP掲載

○議員研修の充実について

- 議員の政策形成及び向上を図り、広く各分野の専門家との研究会を積極的に開催し、研修の充実強化を図る。  
→ 議会基本条例第22条で義務化

○高校生フレッシュ議会について

- 平成28年6月からの選挙権の年齢引き下げに伴い事業化  
→ 平成27年度「地方創生まちづくりアイデア買取事業」での優秀賞を事業化

○議長の議会広報活動（記者会見・地元FM放送）について

- ・本会議後必要に応じての記者会見実施
- ・地元FM放送による議会の取組・近況状況の報告
- ・今後の議会方針発表

- ・高等学校訪問（市議会の仕事等）

#### ○タブレット試行導入について

市民に身近で開かれた議会を実現するためには、議会のICT化をさらに発展させ、議会運営の効率化と議会の機能強化を図ることが重要とし、その一環として、平成29年度にタブレット端末を試行導入し、各種会議、住民説明等に活用、また議会資料等のペーパーレス化などを行い、その有効性や費用対効果の検証を行うことを目的としている。

- タブレット端末34台（議員26台・事務局8台）の導入
- 文書共有・会議システムの導入
- 議員用グループウェアの導入

#### 事業費の内訳

- タブレット端末通信費（本体費用含む） 2,364千円
- 文書共有・会議システム使用料 573千円
- 議員用グループウェア使用料 110千円
- タブレット端末管理システム使用料 121千円

#### 主な特定財源

- タブレット端末通信費議員負担金 825千円
- 通信費の費用負担割合（公費負担50%・議員負担50%）

### 《所感》

早稲田大学マニフェスト研究会の2016年度ランキング20位とされる福知山市議会を訪問させて頂きました。議会基本条例を平成25年に制定し、その内容に基づいて様々な取組、事業が展開されていました。

我々小野市議会としては基本条例の制定を行わず、申し合わせを中心に議会活動の展開となっていますが、我々にとって普通として考えて行動している内容が、他市では基本条例での明文化となっており、それらに気付いていない小野市議会の一面も少々感じました。

例としては、PCの全議員への配置等もそうであります。加えて、平成28年度で廃止した政務活動費から、議会費からの支出による議員派遣による研修会（報告会）についても同様に、議員、議会自らが市民感覚をもって議会の果たすべき役割を意識している姿勢もそうであります。

しかし、小野市議会には継続性と公開性に欠けるところもあり、また、公開性においては議員間での温度差も感じるころであり、実行力はあっても統率して組織として機能していない一面でも感じています。

それぞれ異なる価値観をもつ市民の方々が存在する中、その市民の方々からの付託に対し応えようとする個々の議員、これらを組織として機能させ、成果を導き出すには合意が



必要であり、その合意を得るためには理屈だけではなく強制力も必要かと感じているところです。それが即ち議会の詳細ルール（議会基本条例）となるのかもしれませんが。

ただし、個人的には上記を踏まえ、議会の役割、議員の役割を考え、質の高い住民サービスを常に考え、自己満足のための活動にならないように今後も注意し、検討をしていきたいと思います。

## [ 第2日 岐阜県可児市 ]

人口 101,297人 41,085世帯（平成29年4月1日現在）

面積 87.57km<sup>2</sup> 人口密度 約 1,156.8人/km<sup>2</sup>

### ●岐阜県可児市

岐阜県中南部に位置し、名古屋市および県庁所在地の岐阜市から30km圏内にあり、北部はおおむね平坦で、南部は県下最大級の工業団地、住宅団地やゴルフ場が点在する丘陵地となっています。また、市の北端部には日本ラインとして名高い木曾川、中央部には東西に流れる可児川があり、豊かな自然環境に抱かれています。

歴史的には、市内には国指定史跡長塚古墳、銅たく発掘の地など多くの遺跡が分布しており、飛騨川・木曾川の合流点として交通の要所を占め、戦国時代には明智光秀出生地の明智（長山）城や森蘭丸出生地の金山城など多くの城が築かれ、江戸時代には市内を東西に中山道が横断し木曾の渡しとともに川湊が開かれるなど、現在の可児市の基礎がこの頃形成されました。

また、市東部の丘陵は、志野、織部を代表とする桃山茶陶の発祥の地として名高く、明治まで美濃焼の主要生産地となっていました。明治以降は、製糸業の導入とともに発展し、昭和30年には可児郡西部の7か町村が合併し可児町が誕生、その後御嵩町・姫治村の一部を編入しました。昭和40年代後半に入ると、名古屋市のベッドタウンとして人口が急増し、昭和57年4月1日、全国650番目の市として市制を施行しました。

その後、平成17年5月1日には、兼山町と合併し人口も10万人を超え、可茂地域の拠点都市として発展をしています。

### 《視察項目》 議会運営と議会活性化の取組について

#### ●可児市議会

- ・議員定数 22名（男性19人・女性3人）
- ・平均年齢 59.8歳（最高齢81歳・最年少43歳）
- ・事務局 定数8人 → 実数6人
- ・2016年議会改革度ランキング 19位（早稲田大学マニフェスト研究所発表）

#### ○可児市議会の取組姿勢

アイデア・・・・・・・・・・気づき

インスピレーション・・・・・・・・ひらめき

アクティビティ・・・・・・・・行動力

コミュニケーション・・・・・・・・相互理解

## 《視察内容》

### ●視察のポイント・要旨・要点

#### ○可児市議会の歩み（年表）

- H15.09 議会活性化特別委員会（平成19年8月廃止）
- H16.03 政務調査費使途基準の見直し
- H17.06 一問一答・対面方式の導入
- H17.12 常任委員会の機能充実
- H19.03 議員定数削減可決
- H19.09 費用弁償の廃止
- H20.07 名城大学都市情報学部昇ゼミへの参加（大学との連携）
- H20.08 議長交際費、政務調査費の公開（HP・議会だより）
- H21.02 議会改革調査研究PTを設置（平成22年8月廃止）
- H21.04 議会基本条例検討に向けた議員研修会（3回開催）
- H21.05 本会議全ての議案の審議結果を議会だよりに掲載
- H21.05 議員の活動範囲についてとりまとめ
- H21.08 賛否一覧を掲載（HP・議会だより）
- H21.08 閉会中の委員会所管事務調査
- H21.08 正副議長選挙における立候補制度の導入
- H22.06 先例・申し合わせの見直し
- H22.08 議員活動の範囲まとめ
- H22.09 決算特別委員会を設置し決算審査を実施
- H22.12 議会基本条例調査研究PTを設置（平成23年5月廃止）
- H23.02 予算特別委員会を設置し予算審査を実施
- H23.02 「議会改革のためのアンケート調査」を実施
- H23.06 議会基本条例調査研究プロジェクトチーム提言書の答申
- H23.08 「議会改革のためのアンケート調査」の結果を公表
- H23.09 議会基本条例特別委員会の設置（平成25年3月廃止）
- H23.10 サイボウズライブを活用した議員間の意見交換と資料提供
- H24.02 第1回議会報告会の実施（広見公民館）
- H24.05 第2回議会報告会の実施（福祉センター・帷子公民館）
- H24.06 本会議のインターネット配信開始（ユーストリーム・ユーチューブ）
- H24.06 予算決算委員会を設置し審査を実施
- H24.10 議会基本条例(案)パブリックコメントおよび市民説明会の実施
- H24.12 **議会基本条例の制定（平成25年4月施行）**
- H25.03 議会会議規則の見直し
- H25.04 議会基本条例の施行
- H25.04 グーグルカレンダーを利用した議会予定の公表
- H25.05 第3回議会報告会の実施（姫治・桜ヶ丘・兼山公民館）

- H25.05 先例・申し合わせの見直し
- H25.06 政治倫理に関する研修会
- H25.08 議会フェイスブックページの開設
- H25.08 議会ホームページの全面更新
- H25.08 政治倫理規程の制定
- H25.08 委員会会議録のインターネット公開開始
- H25.11 第4回議会報告会の実施（春里・下恵土・平牧公民館）
- H25.10 議会改革調査研究プロジェクトチーム設置（定数・報酬・委員会のあり方）
- H25.12 委員会のインターネット配信開始（ユーストリーム・ユーチューブ）
- H26.02 高校生議会の開催（地域課題解決型キャリア教育支援事業）
- H26.03 議会改革調査研究PT中間報告・議員派遣による研修結果報告会の開催
- H26.05 第5回議会報告会の実施（広見・土田・帷子公民館）
- H26.07 地域課題懇談会（地域課題解決型キャリア教育支援事業／医師会協力）
- H26.07 議会改革調査研究チーム最終報告（定数・報酬・委員会のあり方）
- H26.07 議会提案の空き家等の適正管理に関する条例（案）パブコメ実施
- H26.07 プロジェクトチーム最終報告→議会運営委員会から議長への答申実施
- H26.08 議会提案による空き家等の適正管理に関する条例の制定
- H26.09 議会活性化特別委員会の設置（定数・報酬・委員会のあり方）
- H26.11 第6回議会報告会の実施（川合・久々利・広見東公民館）
- H27.02 高校生議会の開催（地域課題解決型キャリア教育支援事業）
- H27.05 議会のトビラ発行（議会だよりリニューアル）
- H27.05 第7回議会報告会の実施（総合会館・帷子公民館・桜ヶ丘公民館）
- H27.06 地域課題懇談会の開催（可児金融協会共催）
- H27.10 議会改革特別委員会の設置（基本条例運用・懇談会／報告会のあり方等）
- H27.10 議員定数報酬検討特別委員会の設置
- H27.11 第8回議会報告会の実施（市内6公民館）
- H27.12 地域課題懇談会出前講座（18歳選挙権）の開催
- H28.01 「第2回議会改革のためのアンケート調査」を実施
- H28.02 高校生議会の開催（地域課題解決型キャリア教育支援事業）
- H28.07 地域課題懇談会の開催（可児商工会議所共催）
- H28.08 ママさん議会の開催

## ○議会運営のサイクル



## ○積極的の取組事例（議会の力が地域の未来を創る）

### ※議員定数報酬の調査研究の継続

→ 全議員対象の活動量調査の実施

### ※地域課題懇談会

→ 高校生議会（高校生による活動報告と意見交換）

→ 各種団体と高校生、議員による地域課題に関する意見交換会

→ 18歳選挙に関する出前講座

→ ママさん議会の実施

### ※若い世代との条例づくり

→ 若い世代と大人が関わり、広聴する仕組みを条例化

## ○まとめ

※2016年度議会改革ランキング19位

※多種多様に広報と広聴

※議会の報告義務の遂行

※議会運営サイクルを確立し反映

※地方から国への姿勢

※強烈なリーダーシップの存在



## 《所感》

今回の視察研修は、平成24年9月議会において議会基本条例を制定している豊岡市議会議会運営委員会との合同研修となりました。

我々小野市議会は、また、自分自身は議会基本条例制定に対し抵抗感がある訳ではありませんが、多くの議会で基本条例を中心とする議会運営を視察研修し、それらの状況を確認させて頂き、明確に判断には至っておりませんが、条例ありきの条例の存在も見受けられ、それらが議会改革度ランキングのポイントに大きく影響しており、300位以内には程遠い小野市議会ではあるものの、一定の規範をもって運営されているものと感じています。



しかし、残念な状況もあり、倫理的に同義的に少々納得のできない議員活動も見受けられ、継続性や公開性を考えた時、また、協働力を考えるとランキングの下位は当然であります。

最低限度の議会の役割は果たすに至っているところかと思いますが、再考察は必要な時期かとも考えられます。小野市議会の強みと弱みを吟味し、市民福祉の向上に向けての課題や自治の精神による指導力性の発揮について個々が集って組織となるように努める必要性を感じたりもしています。



議会基本条例は議会の活動規範であり、基本条例の位置付けが最高規範なのか最低規範なのか、即ち、基本条例を策定する目的で策定するのは危険が伴っていると考えています。小野市議会にとって議会運営をどう捉えるか今後も検討を迫られるものと思います。

さて、肝心の可児市議会での所感であります。今回の議会運営委員会、各委員の感じ方がどうであったか分かりませんが、議会運営、議会の活性化については、様々な角度と視点で事業としての取組や、二代表制としての姿勢、何をとっても領くしかない状況でありました。然るに報告書でも可児市議会の歩みとして年表形式で整理のみとなりました。

そんな中で、議会運営のサイクルについて少々考えを整理すると、当然のこととして思われがちではありますが、なかなか4年1期をサイクルとして捉えられる議会は少ないのではないかと感じました。この件については小野市議会も同様に、単に引継ではなく、異なる価値観の議員が4年1期のチーム、組織として機能することを「考えることのできる議会としての運営システム・仕組み」を考える必要も感じました。

議会は、協議会でも組合でもなく、異なる考え、異なる価値観が存在して当然の場であり、それらを統括してひとつの力に変えるには、一定の規範は必要であると思います。それらが何であるかが地域特性や歴史的な背景等により各市議会において異なるとも思いません。そこで、小野市議会としてはどうあるべきか、調査研究を重ねていきたいと思えます。

平成29年8月1日

小野市議会議長 山中 修己様

議会運営委員会  
富田和也 ⑩

## 行政視察報告書

先般、実施しました議会運営委員会行政視察の結果について、下記のとおり報告いたします。

### 記

**1 視察実施日** 平成29年7月24日（月）～平成29年7月25日（火）

**2 視察メンバー**

◎前田光教 ○富田和也 ・ 山本悟朗 ・ 岡嶋正昭 ・ 加島 淳  
川名善三 ・ （議長）山中修己

**3 視察先及び調査内容**

（1）京都府福知山市（人口：約7万9千人、面積：552.57Km<sup>2</sup>）

議会運営と議会活性化の取組について

※政策検討会議（全議員）での政策提言、政策立案

※出前委員会

※行政視察研修報告会（公開）

※高校生フレッシュ議会

※タブレット端末試行導入

※議長の議会広報活動（記者会見、地元FM放送）

※議会改革検討会議 など

(2) 岐阜県可児市（人口：約10万1千人、面積：87.57Km<sup>2</sup>）

議会運営と議会活性化の取組について

- ※議会運営サイクル（議長マニフェスト）
- ※市民アンケート2,000人の実施
- ※地域課題懇談会（商工会議所、医師会、高校生等）
- ※ママさん議会の開催
- ※議会のトビラ（議会だより、ホームページリニューアル）
- ※議会改革調査研究プロジェクトチーム設置
- ※ICT活用の取組
  - ・フェイスブックでの議会情報発信
  - ・グーグルカレンダーを活用した議会活動の公表
  - ・議場スクリーン設置による一般質問での資料表示 など

#### 4 調査結果

##### **【第1日】**

京都府福知山市

人口：約7万9千人、面積：552.57Km<sup>2</sup>



## 《視察項目》

### 議会運営と議会活性化の取組について

- ※政策検討会議（全議員）での政策提言、政策立案
  - ※出前委員会
  - ※行政視察研修報告会（公開）
  - ※高校生フレッシュ議会
  - ※タブレット端末試行導入
  - ※議長の議会広報活動（記者会見、地元FM放送）
  - ※議会改革検討会議
- など、議会活性化の取組の背景・事業の概要・事業効果・課題等、その他事業の特筆事項について調査研究を行いました。

福知山市議会塩見議会運営委員長、奥藤議員、高橋議員、事務局田和係長の皆様からご説明いただきました。

## 《福知山市の沿革》

福知山市には、古くは縄文時代から人々が住んでいたことが遺跡などから明らかになっている。また、天正7（1579）年、織田信長の命で丹波を平定した明智光秀は、砦跡を利用して福知山城を築く。以来、福知山は城下町として栄え、明治末期までに大阪、京都へとそれぞれ鉄道が開通し、商都として発展した。平成18年1月1日には、三和町、夜久野町、大江町と合併し、新しい福知山市がスタート。市では地域医療の拠点である福知山市民病院の新病院全面完成（平成19年6月）や、福知山駅の全線高架開業（平成21年2月）による福知山駅周辺整備事業といった都市基盤の充実を図るとともに、恵まれた自然環境を生かしながら【「未来創造福知山」多様性あふれる高次機能都市】の実現をめざして、北近畿の中核都市としてのまちづくりを進めている。

## 《視察内容》

### 【福知山市議会議員定数】

条例定数	現員数	男女内訳
24	26	男性24・女性2

※ 議員定数を「26人」から「24人」に改正する条例が平成29年5月9日に施行され、同日以降初めて実施される一般選挙から適用される。

その他

※ 各常任委員会は予算・決算審査委員会を含め、6委員会ある。

※ 福知山市職員定数は現在、1,534人

(合併後、市の本庁舎をはじめ、支所庁舎が3か所ある)

### 《福知山市議会基本条例制定の経過》

H23年 4月	一般選挙 議員定数26名(福知山市議会第21期議員)
H23年 5月	議会基本条例策定について全議員確認
H23年 5月	総務委員会 検討開始(28回協議) 先進地視察(会津若松市・伊賀市・京丹後市・綾部市) 全議員協議会の確認
H24年11月	パブリックコメントを実施
H24年11月	議会基本条例をテーマに議会報告会を開催
H24年12月	定例会上程・制定
H25年 4月	条例施行
H25年 5月	議会改革検討会議設置

### 《議会基本条例の柱》

① 情報公開の推進 ② 市民参加の推進 ③ 議会の機能強化(議会の活性化)

### 「議会改革検討会議の取組」

議会基本条例16条(議会改革)

・議会改革検討会議の設置義務(議会改革の継続的取組の推進)

平成25年5月設置

### 《条例制定の目的》

二元代表制の下、市民及び市長並びに議会の関係、議会活動の基本原則その他、基本的な事項を定めることにより、自治体が立案する事務の決定、執行及び評価における論点や課題を広く市民に明らかにするとともに、合議制の意思決定機関としての議会の果たすべき役割を明確にし、福知山市の豊かなまちづくりを実現することを目的。

### 《制定後の主な取組》

- ・ 議会基本条例（解説）の作成
- ・ 災害等発生時の議会对応要領の策定
- ・ 常任委員会のあり方（(所管事項の再編、予算審査の常任委員会化)
- ・ 自由討議実施要領の策定
- ・ 法第96条第2項の議決事項の策定
- ・ 議会基本条例運用基準の策定
- ・ 出張委員会実施要領の策定
- ・ 議会のICT化の検討
- ・ 議会改革講演会、議員研修の開催
- ・ 高校生議会の開催
- ・ 政策提言、政策立案のしくみづくり
- ・ その他



## 1 情報公開の推進（重点）

### 「議案賛否の公開」

※会派での意思決定ではなく各議員が賛否をしている

### 「政務活動費の使途・収支報告の公開」

※政務活動費収支報告書及び研修報告は、市役所情報公開コーナーに常備し、

閲覧可能に。更に議会だより、HPに領収書・使途・収支報告を掲載。また、行政視察研修報告会は全議員が参加し、市民・市職員を対象に執り行われる。報告会回数は半期にわけ年2回、要する時間は1日中とのことであった。

### 「役職選出にかかる所信表明会の実施」

※その職を志す議員が所信を表明（1人10分）し、質疑応答（1人に対し15分以内）する機会を設けライブ中継を実施している。

### 「委員会審査等 ライブ中継・録画配信の導入」

### 「議長の議会広報活動」

- ・記者会見の実施 ・地元FM局の放送（議長インタビューの実施）
- ・地元高校生との懇談会（学校訪問）

## 2 市民参加の推進

### 「議会報告会」

（実施時期と参加状況）

	年月日	回数	延べ参加人数
第1回	H23年11月	9会場	146
第2回	H24年8月	4会場	68
第3回	H24年11月	1会場	48
第4回	H25年8月	4会場	100
第5回	H26年2月	3会場	61
第6回	H26年11月	2会場	35
第7回	H27年11月	2会場	45
第8回	H28年2月	2会場	89
第9回	H28年8月	2会場	35
第10回	H28年11月	2会場	40

※ 報告内容は定例会・臨時会・委員会活動紹介・意見交換会・（地域、団体等の課題）等

※ 運営方法は広報広聴委員会が主担当になり全議員役割分担で運営している。

※ H27年度より座談会として対話集会形式で実施、グループディスカッションを取り入れている。（効果がある）

#### 「議会改革講演会」

※議員・市民パネルディスカッション

#### 「出張委員会の実施」

※目的は、議会基本条例第18条に基づき、各委員会において出張委員会を開催し、市民の積極的な傍聴を募り、議会に情報発信と市民参加を促進

#### 「行政視察（委員会、会派）研修報告会の実施」

※質問、意見交換を含め、各30分以内とし、委員会は委員長・会派は幹事長とし公開ライブ及び録画配信を行う。

#### 「高校生フレッシュ議会」

※「平成27年度地方創成まちづくりアイデア買取り事業」において、優秀賞を受賞した市民のアイデアを事業化したもので、H28年5月実施

#### 「議員定数を考える市民意見交換会」

#### 「傍聴者への取組の充実」（議会基本条例第2条、18条）

※手話通訳の導入 H27年4月1日から実施

### 3 議会の機能強化

#### 「議決事項の充実」

※総合的かつ計画的な基本計画に関する審査

#### 「議員研修の充実」

※議員の政策形成及び立案能力の向上を図るため、各分野の専門家との研修し充実の強化を図る。

#### 「災害等発生時の議会の対応」

※災害発生時には、災害状況と問題を把握するために、必要な段階において会議等を招集し、市長等に説明を求めるなど情報の共有を図り、必要な対応を協議する。



### 「自由討議の推進」 （議会基本条例第14条）

※会議においては、議員相互間の自由討議により議論を尽くして合意形成に努めている。

### 「請願審査の充実」 （議会基本条例第6条）

※請願及び陳情を市民による政策提言と位置付け、提出者が希望した場合は、その委員会審査又は調査において、意見を直接述べることができるよう配慮している。

### 「議会政策検討会議の設置」

※議会の政策提言及び政策立案を実現させるため、議員間の共通認識の醸成を図り、合意形成に資することを目的として当会議を設置。

### 「議会ICT化推進事業」

※H29年度にタブレット端末を試行導入し、各種会議、住民説明会等に活用、また議会資料等のペーパーレス化などを行い、その有効性や費用対効果の検証を行っている。

### 《所 感》

初日は、京都府福知山市議会の議会改革の取組について研修をさせていただきました。当市は議会基本条例制定後、緻密な計画のもと本条例を使いこなしておられました。

特に、委員会が出前講座を開催する「出張委員会」のほか、委員会の行政視察報告を執行部や市民を対象に実施するなど、非常に活発で精力的な活動をされておられるのが大変印象に残りました。

福知山市議会の取組は大変参考になりました。

## 【第2日】

岐阜県可児市

人口：約10万1千人、面積：87.57Km<sup>2</sup>



2日目の行政視察は兵庫県豊岡市議会運営委員会様との合同研修

### 《視察項目》

議会運営と議会活性化の取組について

- ※議会運営サイクル（議長マニフェスト）
- ※市民アンケート2,000人の実施
- ※地域課題懇談会（商工会議所、医師会、高校生等）
- ※ママさん議会の開催
- ※議会のトビラ（議会だより、ホームページリニューアル）
- ※議会改革調査研究プロジェクトチーム設置
- ※ICT活用の取組
  - ・フェイスブックでの議会情報発信
  - ・グーグルカレンダーを活用した議会活動の公表
  - ・議場スクリーン設置による一般質問での資料表示 など

議会活性化の取組の背景・事業の概要・事業効果・課題等、その他事業の特筆事項について調査研究を行いました。

## 《可児市の沿革》

岐阜県中南部に位置し、名古屋市や県庁所在地の岐阜市から30km圏内にあり、北部はおおむね平坦で、従来からある集落が発展した住宅地を主とした市街地が形成されており、南部は県下最大級の工業団地や住宅団地、ゴルフ場が点在する丘陵地となっている。また、市の北端部には日本ラインとして名高い木曾川、中央部には東西に可児川が流れており、豊かな水と緑に恵まれたまちである。

昭和30年の町村合併により可児町となった後、御嵩町・旧姫治村の一部を編入、さらに平成17年5月には旧兼山町と合併し、現在の市域となった。

平成17年に中部国際空港が開港し、東海環状自動車道可児御嵩ICが開通したことで、可茂地域の拠点都市としてだけでなく、名古屋都市圏を支える拠点としての役割も期待されている。

## 《視察内容》

可児市議会の議会改革の取組状況  
～市民に信頼される議会を目指し～

- H15.9 議会活性化特別委員会（H19.8で廃止）
- H16.3 政務調査費使途基準の見直し
- H17.6 一問一答・対面方式の導入
- H17.12 常任委員会の機能充実
- H19.3 議員定数削減可決
- H19.9 費用弁償の廃止
- H20.7 名城大学都市情報学部昇ゼミへの参加（大学との連携）
- H20.8 議長交際費、政務調査費の公開（ホームページ、議会だより）
- H21.2 議会改革調査研究PTを設置（H22.8で廃止）



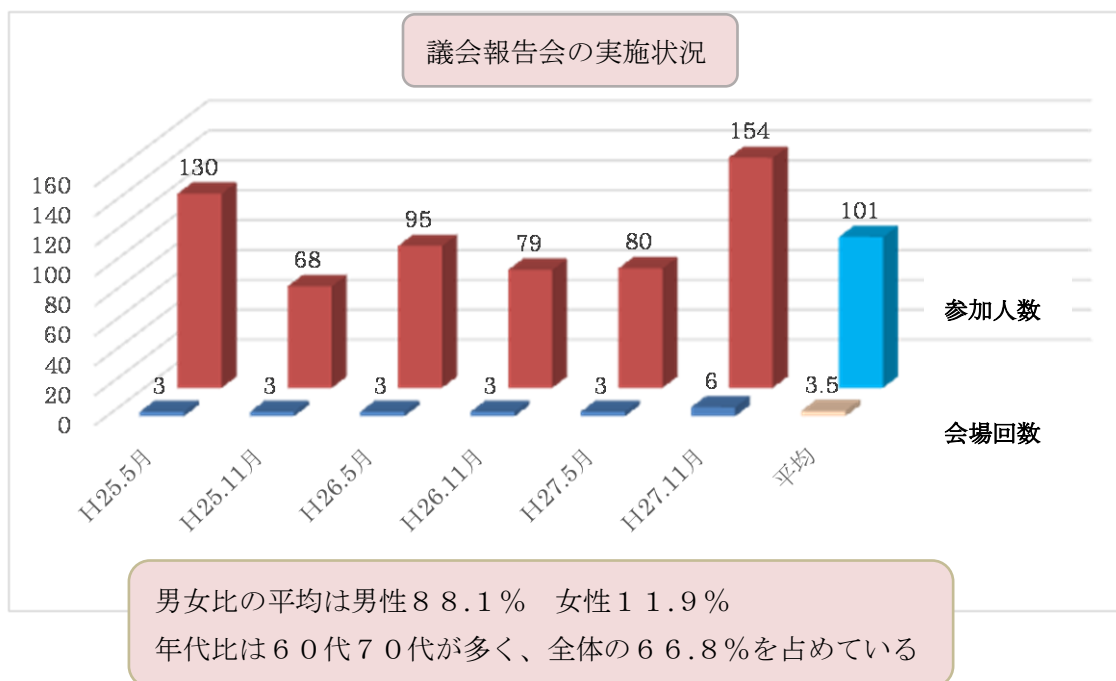
- H21. 4 議会基本条例検討に向けた議員研修会（3回開催 4/30、6/24、9/26）
- H21. 5 本会議全ての議案の審議結果を議会だよりに掲載
- H21. 5 議員の活動範囲についてとりまとめ
- H21. 8 賛否一覧を掲載（ホームページ、議会だより）
- H21. 8 閉会中の委員会所管事務調査
- H21. 8 正副議長選挙における立候補制度の導入  
※マニフェストを唱え、守れなかった場合は市民に説明にまわるとのこと。
- H22. 6 先例・申し合わせの見直し
- H22. 8 議員活動の範囲まとめ
- H22. 9 決算特別委員会を設置し決算審査を実施
- H22. 12 議会基本条例調査研究PTを設置（H23. 5で廃止）
- H23. 2 予算特別委員会を設置し予算審査を実施
- H23. 2 「議会改革のためのアンケート調査」を実施
- H23. 6 議会基本条例調査研究プロジェクトチーム提言書の答申

- H23.8 「議会改革のためのアンケート調査」の結果を公表
- H23.9 議会基本条例特別委員会の設置（H25.3で廃止）
- H23.10 サイボウズライブ（グループウェア）を活用した議員間の意見交換と資料提供

※目的と、その効果については、委員相互間の意見交換と事前調査の活発化そして、資料確認とその配布を円滑に行うことができるようになった。

- H24.2 第1回議会報告会の実施（広見公民館 2/12）

※開催時期は春5月頃と秋11月頃に各公民館等で毎年行う。運営方法は各委員会（公務）において実施している。



- H24.5 第2回議会報告会の実施（福祉センター5/26・帷子公民館 6/2）
- H24.6 本会議のインターネット配信開始（ユーストリーム・ユーチューブ）
- H24.6 予算決算委員会を設置し審査を実施
- H24.10 議会基本条例(案)パブリックコメントおよび市民説明会の実施
- H24.12 議会基本条例の制定（施行はH25.4～）
- H25.3 議会会議規則の見直し
- H25.4 議会基本条例の施行
- H25.4 グーグルカレンダーを利用した議会予定の公表
- H25.5 第3回議会報告会の実施（姫治 5/12・桜ヶ丘 5/17・兼山公民館 5/18）

- H25.5 先例・申し合わせの見直し
- H25.6 政治倫理に関する研修会
- H25.8 議会フェイスブックページの開設
- H25.8 議会ホームページの全面更新
- H25.8 政治倫理規程の制定
- H25.8 委員会会議録のインターネット公開開始
- H25.11 第4回議会報告会の実施(春里 11/9・下恵土 11/10・平牧公民館 11/16)
- H25.10 議会改革調査研究プロジェクトチーム設置  
※定数・報酬・委員会のあり方
- H25.12 委員会のインターネット配信開始(ユーストリーム・ユーチューブ)
- H26.2 高校生議会の開催(地域課題解決型キャリア教育支援事業)  
※各種団体等の協力を得て、若い世代の意見を聞く機会を設け、地域の活性化や課題に取り組むことで、地域の担い手育成に繋げていくことを目的としている。

企画会場にて開催



議会・学校・緑塾・行政・地域との協働

- H26.3 議会改革調査研究PT中間報告・議員派遣による研修結果報告会の開催
- H26.5 第5回議会報告会の実施(広見 5/17・土田 5/18・帷子公民館 5/24)
- H26.7 地域課題懇談会の開催

※地域課題解決型キャリア教育支援事業・可児医師会協力

- H26.7 議会改革調査研究プロジェクトチーム最終報告  
※定数・報酬・委員会のあり方
- H26.7 議会提案の空き家等の適正管理に関する条例（案）のパブリックコメント実施
- H26.7 プロジェクトチーム最終報告に基づく議会運営委員会から議長への答申実施
- H26.8 議会提案による空き家等の適正管理に関する条例の制定
- H26.9 議会活性化特別委員会の設置（定数・報酬・委員会のあり方）
- H26.11 第6回議会報告会の実施（川合 11/16・久々利 11/22・広見東公民館 11/23）
- H27.2 高校生議会の開催（地域課題解決型キャリア教育支援事業）
- H27.5 議会のトビラ発行（議会だよりリニューアル）  
※年4回発行（5月・8月・11月・2月）  
H25年5月からフルカラー化
- H27.5 第7回議会報告会の実施  
※総合会館 5/17・帷子公民館 5/23・桜ヶ丘公民館 5/24
- H27.6 地域課題懇談会の開催（可児金融協会共催）  
※各種団体との懇談会を開催、民生委員等他
- H27.10 議会改革特別委員会の設置  
※基本条例運用・懇談会／報告会のあり方等
- H27.10 議員定数報酬検討特別委員会の設置
- H27.11 第8回議会報告会の実施（市内6公民館）
- H27.12 地域課題懇談会出前講座（18歳選挙権）の開催
- H28.1 「第2回議会改革のためのアンケート調査」を実施
- H28.2 高校生議会の開催（地域課題解決型キャリア教育支援事業）

その他

議会運営サイクル

※議長マニフェストを議会の課題と受け止め委員会で継続審査を行っていく。

予算・決算審査サイクル

※委員会を議員20人で構成（議長・監査委員を除く）

可児高校での模擬選挙を開催（1・2年生全員参加）

※結果として、選び方が分からない生徒がいることから、グループディスカッションを導入することにより効果が出てきたとのことである。（選ぶ力を養う）

※模擬選挙立候補演説会にはNPO関係者が演説会を開催し、各候補者の選挙公約等を聞き選挙に備える。

※効果として、H28年参議院議員選挙18歳～19歳の投票率全国平均は46.78%に対し、可児市の投票率は53.30%と高水準となっている。

#### 《今後の取組予定》

※議員定数及び報酬（アップ）の調査研究の継続し全議員を対象に活動量調査の実施

※若い世代との条例づくり

#### 《所 感》

2日目は岐阜県可児市議会の議会改革の取組について、豊岡市議会との合同研修となりました。進行に、やや戸惑う場面も若干感じましたが、和やかな雰囲気の中にも緊張感溢れるそんな研修会となりました。可児市議会運営委員会、川上委員長様より、概要を丁寧に説明いただき、仔細にわたる条例の運用基準を定め実践されていました。中でもHPの構成や議会活性化の取組、情報の提供内容、地域課題懇談会を通じ、情報の共有と市民の意識改革等、非常に学ぶべき点が多かった。特に、高校生模擬選挙（出前講座）については各関係者の協力を得、綿密に計画し実践されており、その成果として、前回の参議院議員選挙では可児市の18歳～19歳の投票率は53.30%と高水準となっています。可児市議会の議会改革の取組は大いに評価できると感じました。

#### 《まとめ》

最後に2日間の研修を終え感じたことは、市民アンケートで見られる「議員が何をしているのかわからない・見えない」という声に対応するための条例化は報告会や意見交換会等に固執してしまう可能性も秘めているのではないかと思えた。つまり市民からの意見集約においては、議員一人一人が市民生活に密着して課題解決のための活動をすることであり、その地道な活動により「議員が何をしているのかわからない・見えない」といった声も減ってくるのではないだろうかと感じた次第であります。併せて小野市議会として今後、議会改革にどう取り組んで行くかではありますが、小野市流を考えてまいりたいと思いました。

今回両市を訪れたことは私自身、大変実りある視察研修となりました。



平成29年8月8日

小野市議会議長 山中 修己 様

議会運営委員会  
岡嶋正昭 印

## 行政視察報告書

先般、実施しました議会運営委員会の行政視察の結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1 視察実施日 平成 29年7月24日(月)～平成29年7月25日(火)

2 視察メンバー

前田光教 富田和也 山本悟朗 加島 淳 山中修己  
川名善三 岡嶋正昭 以上7名

3 視察先及び調査内容

(1) 京都府福知山市(人口:約7万9千人、面積:552.57Km<sup>2</sup>)  
議会運営と議会活性化の取組について

(2) 岐阜県可児区(人口:約10万1千人、面積:87.57Km<sup>2</sup>)  
議会改革と議会活性化の取組について

4 調査結果

【第1日】:京都府福知山市

(人口: 79,206人、世帯数:36,052世帯)

面積: 552.57Km<sup>2</sup>、周囲:174.20km

海拔:839.17m(最高) 7.11m(最低))

(平成29年5月1日現在)

## ≪視察項目≫

### 議会運営と議会活性化の取組について

≪説明者≫ (挨拶) 大谷議長  
(説明) 塩谷議員、高橋議員、奥藤議員

## ≪視察内容≫

(議員数) : 条例定数 24 名 現員数 26 名 (男性 24 名 : 女性 2 名)  
(組織) 常任委員会 : 総務防災 (7)・市民地域 (6)・教育厚生 (6)・産業建設 (6)  
          予算審査 (25) 議長を除く全議員  
          決算審査 (24) 議長・監査委員を除く全議員  
議会運営委員会 (9)  
特別委員会 : 由良川改修促進特別委員会 (7)  
協議・調整の会議 : 全議員協議会 (全議員)・各派幹事会 (正副議長及び各派幹事)  
                  広報広聴委員会 (各会派 1 名) 委員長会議 (正副議長及び委員長)  
                  議員報酬等検討委員会 (副議長及び各派代表者 1 名)  
                  議会改革検討会議 (委員の構成は議会運営委員会と同一)

「議会基本条例制定について」

平成 25 年 4 月 条例制定

平成 25 年 5 月 議会改革検討会議設置 (当会議の設置義務)

## 【議会基本条例の柱】

① 情報公開の推進 ② 市民参加の推進 ③ 議会の機能強化 (議会の活性化)

## 「議会改革検討会議の取組」

### ・会議の主な内容

議会基本条例に基づく議会活動の点検、検証等  
議会改革事項に関する検討  
議員からの提案、提言の検討

### ・設置後の主な取組

議会基本条例 (解説) の作成	災害等発生時の議会対応容量の策定
常任委員会のあり方 (所管事項の再編、予算決算審査の常任委員会化)	
自由討議実施要領の策定	法第 96 条第 2 項の議決事項の策定
議会基本条例運用基準の策定	出張委員会実施要領の策定
議会の ICT 化の検討	議会改革講演会、議員研修会の開催
高校生議会の開催	政策提言、政策立案のしくみづくり

その他（議会事務局の協力が大きい。職員7名（内、臨時職員1名））

### ・情報公開の推進

重要な議案 ⇒ 各議員の意見を議会広報で公表

政務活動費の使途 ⇒ 市役所情報公開コーナーに常設し閲覧可能

役員選出 ⇒ 議長・副議長・各委員会の委員長及び副委員長

⇒ 所信表明（立候補）

委員会審査等 ⇒ ライブ中継・録画配信の導入

### ・市民参加の推進

議会報告会 ⇒ 年2回程度を開催。座談会（対話形式）で実施

基本条例を制定されこれらに基づき議員活動が行われている。

この際に市民の方から「議会は何もしていないのではないか?」「もっと我々の意見も聞いてほしい」等々多くの意見が出てきた。これらから市民の方への対応を考え、広報広聴委員会により検討を重ね企画計画された上、議会報告会を実施されている。

良くも悪しくも貴重な多くの意見が市民から述べられ、これらを持ち帰り協議・検討し行政側とも行い、結果を市民へ報告をされている。

### 「議会改革講演会」

議員・市民パネルディスカッション

### 出張委員会の実施

議会基本条例18条により、委員会等の適切な運営

### 行政視察研修報告会の実施

行政視察の成果を市民への反映や政策提言等につなげる事を目的とする。

実施は年2回（随時） 委員会視察、会派視察の報告

市民、市職員及び全議員

### 議員定数を考える市民意見交換会

### 傍聴者への取組の充実

手話通訳の導入等

### 「議会の機能強化」

議員研修の充実

災害等発生時の議会の対応

「福知山市議会における災害等発生時の対応要領」により

自由討議の推進（議員基本条例第14条）

議会は、会議においては、議員相互間の自由討議により議論を尽くして合意形成に努めなければ場ならない。

議会政策検討会議の設置

政策提言・政策立案の実現の為、議員間の共通認識の醸成を図る。

⇒ 「福知山市議会政策検討会議」を設置する。

## 所 感

福知山市では、「議会基本条例の制定」にむけて、市民への報告会・意見交換を兼ねて開催されたところ、市民の方から「我々の意見を聞いてほしい」「議員定数も減らすべき？」と色々な意見が出ていました。これらを受け議会からの対応をとして、更なる積極的な議会報告会を開催された。中には不穏当な意見もあるようですが、これらの多くの意見として市民から直接聞き取れる機会ととらえ、述べられた意見に対し協議・検討を加え後に文書にて報告をされている。(市民満足に繋がる) 又市議会議員は市民を代表しての立場にあり多くの市民の方々の意見を聞き、議会活動に生かされている。小野市議会においても現在意見交換会(小野地区区長会)を開催していますが、これらの意見を更に吸収し、多くの小野市民の方々の意見を聞き個人の議員活動に活かし、更には議会活動へと発展していく必要性を強く感じた視察でありました。

### 【第2日】 平成29年7月25日(火)

岐阜県可児市

(人口：101,297人 41,085世帯 面積：87.57Km<sup>2</sup>)

海拔44.2(土田字大脇)～372.0m(浅間山山頂))

- ・世界一のバラ園(花フェスタ記念公園)
- ・美濃桃山陶の聖地(信長・秀吉時代の茶の湯文化を牽引)
- ・森蘭丸の所縁のち(森蘭丸の甲冑・国史跡美濃金山城後)

### ≪視察項目≫

議会改革と議会活性化の取組について

(兵庫県豊岡議議会との合同視察)

### ≪視察内容≫

議会と市長の関係(二元代表制)

互いに選挙により選出。よって対等な関係にある  
議員は代理ではなく代表である。

⇒ 「市民に信頼される議会」でないといけない。

「大学との連携の取組」 ⇒ 議員の資質の向上を図る。

「議論充実のための取組」 ⇒ 議案ごとに一括質問、一括答弁とし、  
再質問から一問一答方式。  
当初からの一問一答方式(選択制)

「正副議長立候補制度」 ⇒ 立候補による所信表明演説

「議会改革のためのアンケート調査」 ⇒ 20歳以上の市民2,000人に調査。

## 予算決算審査サイクル

決算審査 ⇒ 審査 ⇒ 市長へ通知

予算審査 ⇒ 審査 ⇒ 提言検討 ⇒ 市長へ通知

## 政策サイクル

「議会基本条例特別委員会」H25.4.1施行

- ・ICTを活用して委員会運営の実施
- ・基本条例に基づく議会報告会の実施
- ・議会情報発信に取組
- ・各種団体との懇談会の開催
- ・定数・報酬・委員会の在り方等について調査、研究を実施

「地域課題懇談会（高校生議会等）」

《地方都市の悩み》

- ・若い世代の都市部への流出



- ・地域の担い手の減少



- ・地方都市の衰退

## 可児市の魅力を知る場（地域への愛着等）

- ・地域への愛着や当事者意識の醸成
  - ・広い視野や新しい経験の獲得
  - ・社会や学問の繋がりの実感など
- ↓ ふるさと発展に寄与する人材育成



**地域課題解決型キャリア教育**

○ 子育て世帯においても、子育て支援を核とした地域づくりへ

- ・同世帯、世帯間交流
- ・過疎対策
- ・高齢者問題 など



ふるさと発展に貢献する人材育成



**地域課題解決型キャリア教育へ**

☆ 今後の取組予定

議員定数・報酬の調査研究の継続

- ・全議員対象の活動調査の実施

#### 地域課題懇談会

- ・高校生議会（高校生による活動報告と意見交換会）
- ・各種団体と高校生、議員による地域課題に関する意見交換
- ・18歳選挙権に関する出前講座
- ・ママさん議会の実施

#### 若い世代との条例づくり

- ・若い世代と大人が関わり、広聴する仕組みを条例化

### 議会の力が地域の未来を創る

#### 所感

可児市議会は議会改革度において上位に位置されている。当日の説明においても二年間で約150件の視察の受入れ、当日午後にももう一件の視察とのことで多くの議会が訪問されている様です。

可児市の議会改革には川上委員長が名実ともに中心となつての取組をされている。強いリーダーシップでの改革、又積極的に市民へのアンケート調査の実施。民意においては2011年8月から2016年5月の間では大幅に改善。市議会に対し、「活動知らない」が64%から「関心ない」が10.1%へと大幅に減少。矢張り積極的に議会報告会等の開催や、議会の見える化の推進。（情報公開の徹底・分かりやすい広報の展開・意見交換会の充実等々）での取組が功を奏しているようです。

小野市においては、一部の区長会との意見交換会を実施しているが、広く意見交換会の開催が出来ればと改めて感じたところです。

平成29年8月8日

小野市議会議長 山中 修己 様

議会運営委員会

川名善三

印

## 行政視察報告書

先般、実施しました議会運営委員会行政視察の結果について、下記のとおり報告いたします。

### 記

**1 視察実施日** 平成29年7月24日（月）～平成29年7月25日（火）

**2 視察メンバー**

川名善三・前田光教・富田和也・山中修己・加島淳・岡嶋正昭・山本悟朗

**3 視察先及び調査内容**

(1) 京都府福知山市（人口：約7万9千人、面積：552.57Km<sup>2</sup>）

議会運営と議会活性化の取組について

(2) 岐阜県可児市（人口：約10万1千人、面積：87.57Km<sup>2</sup>）

議会運営と議会活性化の取組について

**【第1日】**

京都府福知山市

人口：約7万9千人、面積：552.57Km<sup>2</sup>

《視察項目》

議会運営と議会活性化の取組について

《視察内容》

1) 議会基本条例の制定

平成23年4月

一般選挙 議員定数26名（福知山市議会第21期議員）

平成23年5月

議会基本条例策定について全議員確認



【福知山市庁舎】

## 総務委員会検討開始

先進地視察（会津若松市・伊賀市・京丹後市・綾部市）

- 平成24年11月 パブリックコメントを実施
- 平成24年11月 議会基本条例をテーマに議会報告会を開催
- 平成24年12月 定例会上程・制定
- 平成25年4月 条例施行
- 平成25年5月 議会改革検討会議設置

- ・基本条例第16条により義務化
- ・基本条例に基づく議会活動の点検
- ・議会改革に関する検討
- ・議員からの提案、提言の検討

## 2) 基本条例の柱

①情報公開の推進 ②市民参加の推進 ③議会の機能協会

## 3) 主な取り組み

### ①情報公開の推進

- ・議案賛否の公開
- ・役職選出にかかる所信表明会の実施
  - ⇒議長、副議長、各委員長及び副委員長の選出に当たり、立候補者に所信表明と質疑の機会を設け選出過程を市民に明らかにする。
  - ⇒ライブ中継の実施
- ・委員会審議等 ライブ中継、録画配信の導入
  - ⇒予算決算委員会、請願審査、行政視察報告会、その他議会行事等
- ・議長の議会広報活動
  - ⇒記者会見の実施
  - ⇒地元FM局の放送での議長インタビューの実施
  - ⇒地元高校生との懇談会

### ②市民参加の推進

- ・議会報告会の実施
  - ⇒内容
    - ・定例会、臨時会の内容、委員会活動紹介、意見交換会
  - ⇒周知方法
    - ・議会だより、議会ホームページ、自治会各戸配布など
  - ⇒運営方法
    - ・広報広聴委員会が主に担当し、全議員役割分担で運営
    - 平成27年度から『座談会』（対話集会）方式で実施
    - ⇒福知山市商工会議所、連合婦人会等の団体
- ・出張委員会の実施
  - ⇒市民の積極的な傍聴を募り、議会の情報発信と市民参加を促進





- ・行政視察研修報告会の実施

⇒市民、市職員及び全議員を対象とし委員会・会派の行政視察の報告を行う。

⇒公開実施、ライブ中継

- ・高校生フレッシュ議会の実施（平成28年5月19日実施）

⇒平成28年6月から選挙権の年齢が引き下げられることに伴い、将来を担う高校生に、民主主義の原則や地方自治の実践を学習する機会を提供することにより、行政や議会に対する関心度を高め、まちづくりに参画する意識の高揚を図ることを目的とする。



### ③議会の機能強化（基本条例第22条）

- ・議員研修の充実

平成27年度の主な議員研修

- ・「ICTを活用した議員力の向上と議会の活性化」（H27. 8. 31）

タブレット端末の操作体験など

- ・「地方議会の役割と課題」（H27. 11. 2）※府北部5市議会参加

これからの地方議会に求められる議員像、議員力

東京大学法学部 教授 金井 利之 氏

- ・自由討議の推進

⇒常任委員会の所管事項を実施対象とし自由討議において、合意形成の図られたものについては、議案提出及び委員長報告など、必要に応じて本会議に反映

- ・請願審査の充実

⇒請願趣旨説明会の実施

- ・請願及び陳情を市民による政策提言と位置付け、提出者が希望した場合は、その委員会審査又は調査において、意見を直接述べることができるよう配慮

- ・災害等発生時の議会対応要領の策定

⇒災害発生時は市民及び市長との間で情報の共有化を図り、迅速な対応に努め、被災状況と問題を把握するため、必要な段階において会議等を招集し、市長等に説明を求めるなど、情報の共有化を図り、必要な対応を協議する。



## 【第2日】

岐阜県可児市

人口：約10万1千人、面積：87.57Km<sup>2</sup>

### 《視察項目》

議会運営と議会活性化の取組について

### 《視察内容》

#### ◆可児市議会の議会改革

##### 【主な取組みの流れ】

平成15年	9月	議会活性化特別委員会（H19.8で廃止）
平成17年	6月	一問一答・対面方式の導入
平成20年	7月	名城大学都市情報学部昇ゼミへの参加（大学との連携）
平成21年	2月	議会改革調査研究PTを設置（H22.8で廃止）
平成21年	4月	議会基本条例検討に向けた議員研修会
平成21年	8月	正副議長選挙における立候補制度の導入
平成22年	12月	議会基本条例調査研究PTを設置（H23.5で廃止）
平成23年	2月	「議会改革のためのアンケート調査」を実施
平成23年	9月	議会基本条例特別委員会の設置（H25.3で廃止）
平成24年	2月	第1回議会報告会の実施
平成24年	6月	本会議のインターネット配信開始
平成24年	10月	議会基本条例(案)パブリックコメント及び市民説明会の実施
平成24年	12月	議会基本条例の制定（施行はH25.4～）
平成25年	4月	議会基本条例の施行
平成25年	8月	議会FBの開設
平成25年	8月	政治倫理規程の制定
平成25年	12月	委員会のネット配信開始
平成26年	2月	高校生議会の開催（地域課題解決型キャリア教育支援事業）
平成26年	7月	地域課題懇談会の開催（可児医師会協力）
平成26年	8月	議会提案による空き家等の適正管理に関する条例の制定
平成26年	9月	議会活性化特別委員会の設置（定数・報酬・委員会のあり方）
平成27年	2月	高校生議会の開催（地域課題解決型キャリア教育支援事業）
平成27年	6月	地域課題懇談会の開催（可児金融協会共催）
平成27年	10月	議会改革特別委員会の設置
平成27年	10月	議員定数報酬検討特別委員会の設置
平成27年	11月	第8回議会報告会の実施（市内6公民館）
平成27年	12月	地域課題懇談会出前講座（18歳選挙権）の開催
平成28年	1月	「第2回議会改革のためのアンケート調査」を実施



【可児市庁舎】



平成28年	2月	高校生議会の開催（地域課題解決型キャリア教育支援事業）
平成28年	7月	地域課題懇談会の開催（可児商工会議所共催）
平成28年	8月	ママさん議会の開催

### 【主な事業】

#### 1) 「大学との連携の取組」

平成20年7月より名城大学名城大学都市情報学部 昇秀樹教授ゼミに参加し、地方自治や時事問題について意見交換を行い知見を広めている。

#### 2) 「議論の充実のための取組」

- ・ 一問一答方式の導入
- ・ 一括質問一括答弁方式も可能な選択方式
- ・ 論点整理のための反問権
- ・ 自由討議
- ・ 議場モニター（スクリーン方式）を利用した一般質問

#### 3) 「正副議長立候補制度」

- ・ 本会議1週間前に立候補者演説会を行い所信表明演説
- ・ 公開で実施（動画配信）
- ・ 立候補がない場合は推薦演説を実施

#### 4) ICT を活用した委員会運営

- ・ フェイスブック(ソーシャルネットワーキングサービス)を活用した議会情報の発信
- ・ ユーチューブを活用したインターネット放送
- ・ 議会フロア（議場を除く）の専用ネット回線導入および無線アクセスポイント設置
- ・ サイボウズライブ（グループウェア）による議員と事務局の情報交換の推進
- ・ 議場スクリーン設置による一般質問などでの資料表示

#### 5) 議会報告会（基本条例で規定）

- ・ 春（5月頃）と秋（11月頃）の年2回公民館単位
- ・ 運営は議会報告会実施会議（副議長・各委員長・議会広報特別委員会正副委員長）
- ・ 報告には「議会だより」を利用し、グループ形式で行い、最後に全体で意見交換



### 《所 感》

福知山市及び可児市においては、ほぼ同時期に議会基本条例が制定されており、一問一答方式（反問権を含む）の採用や議会報告会（意見交換会）などの実施、役職者立候補制が行われており、一連の議会改革の諸制度が取り入れられている。また、近年の流れとして、タブレット端末の導入や議場での ICT 機器の利用が検討されるなど、新たな取組の検討が始まっている。両市とも庁舎自体は新しいものではないが、映像配信には積極的で関連機材の充実が図られているが、可児市での大型ディスプレイでは、費用対効果を考えたプロジェクターとスクリーンを活用した映像放映など特に工夫がされていた。また、福知山市では、既に「議会における災害等発生要領」が制定されているが、災害発生は予見できないこともあり、今後の重要な検討課題であると感じた。

平成29年7月31日

小野市議会議長 山中 修己 様

議会運営委員会  
山本 悟 朗 ⑩

## 行政視察報告書

先般、実施しました議会運営委員会行政視察の結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1 視察実施日 平成29年7月24日（月）～平成29年7月25日（火）

2 視察メンバー

前田 光教(委員長) 富田 和也(副委員長) 山中 修己  
加島 淳 川名 善三 岡嶋 正昭 山本 悟朗

3 視察先及び調査内容

(1) 京都府福知山市（人口：約7万9千人、面積：552.57Km<sup>2</sup>）

議会運営と議会活性化の取組について

(2) 岐阜県可児市（人口：約10万1千人、面積：87.57Km<sup>2</sup>）

議会運営と議会活性化の取組について

4 調査結果

【第1日】

京都府福知山市

人口：約7万9千人、面積：552.57Km<sup>2</sup>

《視察項目》

議会運営と議会活性化の取組について

## ≪視察内容≫

### 議会の概要

議員数 定数は24 現員は26名(内女性2名)

会派内訳 5人会派3 4人会派1 3人会派1 無会派1

職員は定数8 現員7

### 議会基本条例の制定について

平成23年5月 検討を開始

平成24年12月 条例制定

平成25年4月 条例施行

条例は①情報公開の推進 ②市民参加の推進 ③議会の機能強化を柱としている。

### 議会改革検討会議設置について

議会基本条例にて、同会議の設置義務を明文化。

平成25年5月に議会改革検討会議設置

福知山市議会の議会改革においては、議会改革検討会議が大きな役割を担っている。

議会基本条例を反映した取組を具現化するために、運用基準、実施要項などを定めるとともに、取り組みの成果についてPDCAサイクルを回す場。

### 会議の主な内容

- ・議会基本条例に基づく議会活動の点検、検証
- ・議会改革事項に関する検討
- ・議員からの提案・提言の検討

### 会議の概要

委員の構成は議会運営委員会と同一の9人

月に2回委員会を開催

事務局職員1名が委員会の担当として業務を遂行

### これまでの成果

- ①議会基本条例コンメンタールの作成
- ②災害等発生時の議会対応要領の策定
- ③常任委員会のあり方(所管事項の再編、予算決算審査の常任委員会化)
- ④自由討議実施要項の策定
- ⑤地方自治法第96条第2項の議決事項の策定
- ⑥議会基本条例運用基準の策定
- ⑦出張委員会実施要綱の策定
- ⑧議会のICT化の検討
- ⑨議会改革講演会、議員研修会の開催
- ⑩高校生議会の開催
- ⑪政策提言、政策立案のしくみづくり

## 議会基本条例を反映した取組

### ①情報公開の推進

- ・議案賛否の公開
- ・政務活動費の使途・収支報告の公開
- ・役職選出にかかる所信表明会の実施
- ・本会議だけでなく委員会・請願審査・役職所信表明会など幅広くライブ中継

### ②市民参加の推進

- ・議会報告会の開催と、開催方法の工夫実施
- ・議会改革講演会の実施
- ・出張委員会の実施
- ・行政視察研修報告会の実施
- ・高校生フレッシュ議会の開催
- ・議員定数を考える市民意見交換会の開催
- ・傍聴資料の充実と手話通訳の導入

### ③議会の機能強化

- ・地方自治法第96条第2項の議決事項を定め、審査議決を行う。
- ・議員研修の充実
- ・自由討議の推進
- ・請願審査の充実
- ・議会政策検討会議の設置

## 上記の内特に気になった取組

### 出張委員会の実施

委員会が調査研究を行う際、市議会ホームページ、議会だより等を通じて市民の参加を募り、市民とともに調査・研修を実施し、その場において市民との意見交換を積極的に実施する。

この出張委員会は各委員会において、年1回以上実施する

地方自治法第96条第2項の議決事項を定め、審査議決を行う。

基本構想及びこれに基づく基本計画に関する事柄を議決事項として定め、委員会の所管事項としている

福知山市総合計画、 福知山市子ども子育て支援事業計画

福知山市障害者計画 福知山市水道ビジョン

都市計画マスタープラン 等

### 自由討議の推進

議会は、会議においては、議員相互間の自由討議により議論を尽くして合意形成に努めなければならない

### 議会政策検討会議の設置

議会の政策提言及び政策立案を実現させるため、議員間の共通認識の醸成を図り、合意形成に資することを目的として設置する。

全議員が参加し、議長を座長として議事を進行する

会議への政策提案者は ①委員会 ②会派 ③議員 と幅広くしており、  
議会改革検討会議の事前確認の後、会議に諮られる。

## 《所 感》

議会の向かう方向を議会基本条例で定め、条例で定めた内容を確実に実施して、市民の期待に応えようとされている様子をひしひしと感じる研修でした。  
形式的に基本条例を定めることが大事ではなく、何を実施することが大切かを見極め実行していくことが大切だとも改めて痛感いたしました。  
特に気になった取組としてあげました4点については、小野市でも早急に取り組むことが大切だと考えています。

## 【第2日】

岐阜県可児市

人口：約10万1千人、面積：87.57 Km<sup>2</sup>

## 《視察項目》

議会運営と議会活性化の取組について

## 《視察内容》

時系列を追った改革の経過は以下の通り

平成20年8月	議長交際費、政務調査費の公開
平成21年5月	本会議の議案の全てについて審議結果を議会だよりに掲載
平成21年8月	議会だよりに賛否一覧を掲載
平成22年12月	議会基本条例調査PTを設置
平成23年9月	議会基本条例特別委員会を設置
平成24年2月	第1回議会報告会を開催
平成24年12月	議会基本条例を制定
平成25年4月	議会基本条例を施行
平成25年12月	委員会のインターネット配信を開始
平成26年2月	高校生議会の開催(これより毎年2月に開催)
平成26年8月	議会提案による空き家等の適正管理に関する条例を制定
平成27年6月	地域課題懇談会を実施(これより定期的に実施)
平成28年8月	ママさん議会の開催

尚、基本条例制定時に議論の充実のため、本会議並びに委員会で自由討議ができるよう規定している。

正副議長は立候補制としており、演説会は動画配信している。

議会改革を行うにあたって、その浸透具合を検証するため、平成23年2月と平成28年1月にアンケート調査を実施している。

アンケートの結果は

	23年	28年
議会に関心がない	36.7%	10.1%
議会に関心がある	12.6%	12.3%

となっており、議会改革によって市民に議会に対する関心を持っていただくことの難しさが窺われる。

#### 〈所 感〉

可児市においても前日の福知山市と同様に情報の公開と議会での「熟議の推進」が進められていました。

自由討論を含めた議会での活発な議論と、そこから生まれる政策の集積は議会の存在意義を高めるうえでとても重要だと感じると同時に、記録に残る自由討議がなく、『「当局」対「議員たち」』であり、議案に対する議論は賛成・反対の討論に限られているスタイルでは、議会報告会を実施するのは無理があると感じました。

現実には小野市議会でも、議員は各議案・政策について、会派内でまたは議場・委員会室の外で相当な議論を行っており、これを公式記録の残る場で議論するように議会の運営システムを変更する必要を感じています。



平成 29 年 8 月 2 日

小野市議会議長 山中修己様

議会運営委員会  
加島 淳 ⑩

## 行政視察報告書

先般、実施しました議会運営委員会行政視察の結果について、下記のとおり報告いたします。

### 記

1 視察実施日 平成 29 年 7 月 24 日（月）～平成 29 年 7 月 25 日（火）

2 視察メンバー

前田光教  
富田和也  
山中修己  
岡嶋正昭  
山本悟朗  
川名善三  
加島淳

3 視察先及び調査内容

（1）京都府福知山市（人口：約 7 万 9 千人、面積：552.57 Km<sup>2</sup>）  
議会運営と議会活性化の取組について

（2）岐阜県可児市（人口：約 10 万 1 千人、面積：87.57 Km<sup>2</sup>）  
議会運営と議会活性化の取組について

## 4 調査結果

### 【第1日】

京都府福知山市（人口：約7万9千人、面積：552.57Km<sup>2</sup>）

#### 《視察項目》

議会運営と議会活性化の取組について



（視察会場）

#### 《視察内容》

市勢

議会の概要

議会基本条例制定について

議会改革検討会議の取組について

##### 1. 情報公開の推進

「議案賛否の公開」

「政務活動費の使途・収支報告の公開」

「役職選出にかかる所信表明会の実施」

「委員会審査等 ライブ中継・録画配信の導入」

「議長の議会広報活動」

##### 2. 市民参加の推進

「議会報告会」

「座談会（対話集会）形式で実施」

「議会改革講演会」

「出張委員会の実施」

「行政視察研修報告会の実施」

「高校生フレッシュ議会」

「議員定数を考える市民意見交換会」

- 「傍聴者への取組の充実」
3. 議会の機能強化
- 「議決事項の充実」
- 「議員研修の充実」
- 「災害等発生時の議会対応」
- 「自由討議の推進」
- 「請願審査の充実」
- 「議会政策検討会議の設置」
4. 議会 ICT 化推進事業

#### 《所 感》

議会の概要・・・条例定数 24 人に対し現員数は 26 人（男性 24 人・女性 2 人）となっている。

「議会基本条例の制定について」・・・

平成 23 年 4 月の一般選挙で、議員定数 26 人の議員が選出された。

同 5 月「議会基本条例策定」について全議員の同意を得る。

総務委員会を中心に検討を開始。（28 回の協議）

先進地視察（会津若松・伊賀市・京丹後市・綾部市）

全員協議会の確認

平成 24 年 11 月 パブリックコメントを実施

議会基本条例をテーマに議会報告会を開催

12 月 定例会上程・制定

平成 25 年 4 月 条例施行

5 月 議会改革検討会議設置

議会基本条例の柱・・・①情報の公開 ②市民参加の推進 ③議会の機能強化

「議会改革検討会議の取組」について

- ・議会改革検討会議の設置義務（議会改革の継続的取組の推進）
- ・平成 25 年 5 月設置

主な内容

- ・議会基本条例に基づく議会活動の点検、検証等
- ・議会改革事項に関する検討
- ・議員からの提案、提言の検討

設置後の主な取組

- ・議会基本条例（解説）の作成
- ・災害発生時の議会対応要領の策定

- ・ 常任委員会のあり方（所管事項の再編、予算決算の常任委員会化）
- ・ 自由討議実施要領の策定
- ・ 法第 96 条第 2 項の議決事項の策定
- ・ 議会基本条例運用基準の策定
- ・ 議会の ICT 化の検討
- ・ 出張委員会実施要領の策定
- ・ 議会改革講演会、議員研修会の開催
- ・ 高校生議会の開催
- ・ 政策提言、政策立案の仕組み作り 等

## 情報公開の推進

### 「議案賛否の公開」

（議会基本条例第 6 条）

議会は、重要な議案に対する各議員の意見を議会広報で公表するなど、議員の活動に対して市民の評価が的確になされるよう情報の提供に努めなければならない。

- ・ 賛否が分かれた議案のみ賛否状況を掲載している。

### 「政務活動費の使途・収支報告の公開」（基本条例第 15 条）

- ・ 政務活動費収支報告書及び研修報告書は、市役所情報公開コーナーに常備し閲覧可能
- ・ 議会だより、HP に領収書・使途・収支報告を掲載
- ・ 行政視察研修報告会を開催（全議員が参加し、市民・市職員を対象とする）

### 「役職選出にかかる所信表明会の実施」（条例第 2 条 議会の活動原則）

- ・ 議会は、議長、副議長並びに各委員会の委員長及び副委員長の選出にあたっては、それぞれの職を志す者に対して、所信を表明し、または質疑応答する機会を設け、その選出の過程を市民に明らかにしなければならない。

このことから、平成 25 年 5 月の臨時議会役職改選時から実施している。

平成 27 年 5 月よりライブ中継を実施した。

### 「委員会審査等 ライブ中継・録画配信の導入」（条例第 23 条 議会効能の充実）

- ・ 予算、決算審査委員会・請願審査・役職選出所信表明会・委員会審査・行政視察研修報告会・その他、議会行事などのライブ中継を平成 25 年 10 月から開始している。

「議長の議会広報活動」（条例第 3 条 議長は、本会議後に必要に応じて記者会見を実施し、議会の情報公開に努めなければならない）

- ・ 記者会見の実施
- ・ 地元 FM 局の放送
- ・ 地元高校生との懇談会（学校訪問）

#### 市民参加の推進

「議会報告会」（条例第 6 条 議会は、議会報告会を開催し、市民に対し討議内容及び議決事件の説明をするとともに、市政全般に関する課題について市民との意見交換に努めなければならない）

- ・ 実施状況 毎年 2～3 回程度行っている。
- ・ 報告会の内容
  - ・ 定例会、臨時議会の内容
  - ・ 委員会の活動紹介
  - ・ 意見交換会（地域、団体等の課題）等。



（福知山市 議場）

**【第2日】**

岐阜県可児市（人口：約10万1千人、面積：87.57K㎡）

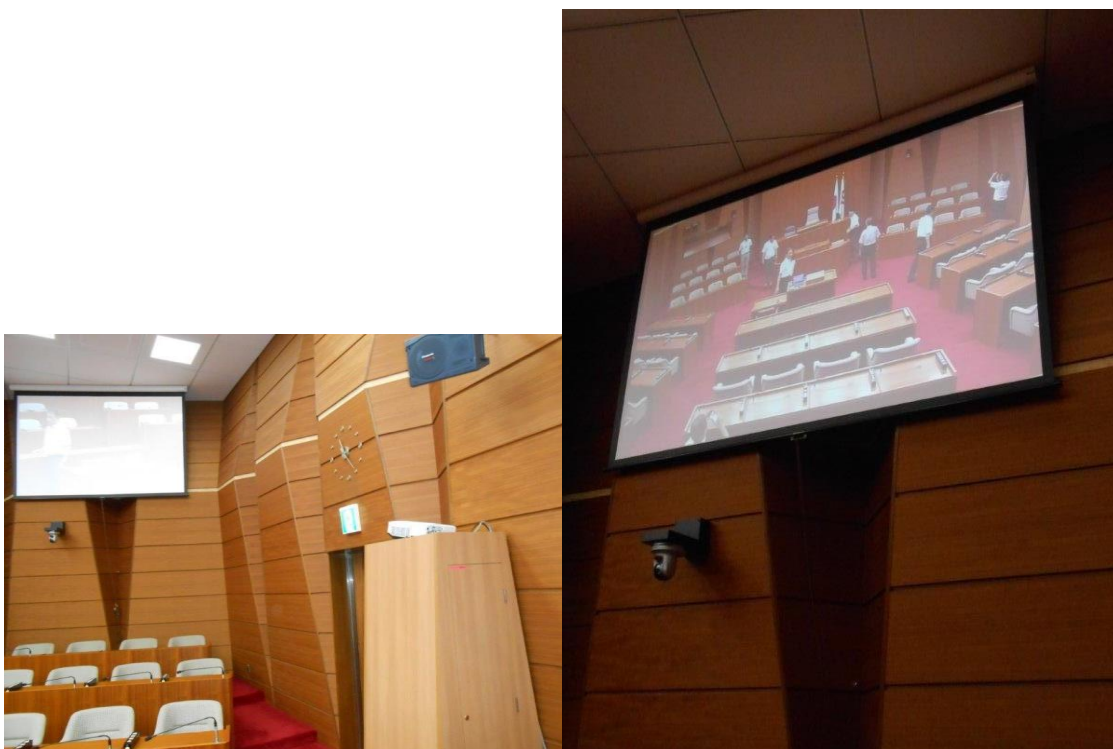
≪視察項目≫

議会運営と議会活性化の取組について

（豊岡市議会との合同視察であった）



（豊岡市議会との合同視察）



（議場内の大型スクリーン）

## 《視察内容》

### 1. 可児市について

可児市は、岐阜県の中南部に位置し、古くから飛騨路及び木曾路への重要な結接点となっている。岐阜市及び中部圏の中核都市である名古屋市からともに30kmの距離にあり、JRで概ね1時間の位置にある。

昭和40年代後半から名古屋圏のベッドタウンとして丘陵地を中心に民間開発による大規模な住宅団地の建設が相次ぎ、急速に人口が増加した。

また、平成17年5月1日には、飛び地である兼山町と合併し人口10万人を超えた。

### 2. 可児市議会について

議員数 条例定数 22人 現員数 22人

可児市議会の議会改革（市民に信頼される議会を目指して）

H15.9 議会活性化特別委員会（H19.8で廃止）

H16.3 政務調査費使途基準の見直し

H17.6 一問一答・対面方式の導入

H17.12 常任委員会の機能充実

H19.3 議員定数削減可決

H19.9 費用弁償の廃止

H20.7 名城大学都市情報学部昇ゼミへの参加（大学との連携）

H20.8 議長交際費、政務調査費の公開（ホームページ、議会だより）

H21.2 議会改革調査研究PTを設置（H22.8で廃止）

H21.4 議会基本条例検討に向けた議員研修（3回開催 4/30、6/24、9/26）

H21.5 本会議全ての議案の審議結果を議会だよりに掲載

H21.5 議員の活動範囲についてとりまとめ

H21.8 賛否一覧を掲載（ホームページ、議会だより）

H21.8 閉会中の委員会所管事務調査

H21.8 正副議長選挙における立候補制度の導入

H22.6 先例・申し合わせの見直し

H22.8 議員活動の範囲まとめ

H22.9 決算特別委員会を設置し決算審査を実施

H22.12 議会基本条例調査研究PTを設置（H23.5で廃止）

- H23.2 予算特別委員会を設置し予算審査を実施
- H23.2 「議会改革のためのアンケート調査」を実施
- H23.6 議会基本条例調査研究プロジェクトチーム提言書の答申
- H23.8 「議会改革のためのアンケート調査」の結果を公表
- H23.9 議会基本条例特別委員会の設置（H25.3で廃止）
- H23.10 サイボウズライブ（グループウェア）を活用した議員間の意見交換と資料提供
- H24.2 第1回議会報告会の実施（広見公民館 2/12）
- H24.5 第2回議会報告会の実施（福祉センター5/26・帷子公民館 6/2）
- H24.6 本会議のインターネット配信（ユーストリーム・ユーチューブ）
- H24.6 予算決算委員会を設置し審査を実施
- H24.10 議会基本条例(案)パブリックコメントおよび市民説明会の実施
- H24.12 議会基本条例の制定（施行はH25.4～）
- H25.3 議会会議規則の見直し
- H25.4 議会基本条例の施行
- H25.4 グーグルカレンダーを利用した議会予定の公表
- H25.5 第3回議会報告会の実施（姫治 5/12・桜ヶ丘 5/17・兼山公民館 5/18）
- H25.5 先例・申し合わせの見直し
- H25.6 政治倫理に関する研修会
- H25.8 議会フェイスブックページの開設
- H25.8 議会ホームページの全面更新
- H25.8 政治倫理規程の制定
- H25.8 委員会会議録のインターネット公開開始
- H25.11 第4回議会報告会の実施（春里 11/9・下恵土 11/10・平牧公民館 11/16）
- H25.10 議会改革調査研究プロジェクトチーム設置  
（定数・報酬・委員会のあり方）
- H25.12 委員会のインターネット配信（ユーストリーム・ユーチューブ）
- H26.2 高校生議会の開催（地域課題解決型キャリア教育支援事業）
- H26.3 議会改革調査研究PT中間報告・議員派遣による研修結果報告会の開催
- H26.5 第5回議会報告会の実施（広見 5/17・土田 5/18・帷子公民館 5/24）
- H26.7 地域課題懇談会の開催  
（地域課題解決型キャリア教育支援事業／可児医師会協力）
- H26.7 議会改革調査研究プロジェクトチーム最終報告  
（定数・報酬・委員会のあり方）
- H26.7 議会提案の空き家等の適正管理に関する条例（案）のパブリックコメント実施



- H26.7 プロジェクトチーム最終報告に基づく議会運営委員会から議長への答申実施
- H26.8 議会提案による空き家等の適正管理に関する条例の制定
- H26.9 議会活性化特別委員会の設置（定数・報酬・委員会のあり方）
- H26.11 第6回議会報告会の実施（川合 11/16・久々利 11/22・広見東公民館 11/23）
- H27.2 高校生議会の開催（地域課題解決型キャリア教育支援事業）
- H27.5 議会のトビラ発行（議会だよりリニューアル）
- H27.5 第7回議会報告会の実施（総合会館 5/17・帷子公民館 5/23・桜ヶ丘公民館 5/24）
- H27.6 地域課題懇談会の開催（可児金融協会共催）
- H27.10 議会改革特別委員会の設置  
（基本条例運用・懇談会／報告会のあり方等）
- H27.10 議員定数報酬検討特別委員会の設置
- H27.11 第8回議会報告会の実施（市内6公民館）
- H27.12 地域課題懇談会出前講座（18歳選挙権）の開催
- H28.1 「第2回議会改革のためのアンケート調査」を実施
- H28.2 高校生議会の開催（地域課題解決型キャリア教育支援事業）
- H28.7 地域課題懇談会の開催（可児商工会議所共催）
- H28.8 ママさん議会の開催

## 《所 感》

- ・基本条例に基づく議会報告会の実施

基本条例では毎年開催すると定めているが、開催時期は春（5月ごろ）と秋（11月ごろ）開催している。開催場所は各公民館。運営方法は、副議長、常任委員会、議会運営委員会の委員長及び議会広報特別委員会正副委員長をメンバーとした議会報告会実施会議において運営。広報手段は議会だより、ケーブルテレビ、FM放送、フェイスブック、地域回覧版、チラシ配布等。後日説明の資料と動画を配信している。

開催当初には、各会場で少数の市民から罵声が飛んだりすることもあり、残りの市民約120名程度の中から「こんな場には二度と来ない」との意見があった。それを反省の糧とし、議会は市民報告会を「グループ形式」に変更した。

- ・「ITCを活用した委員会運営」

無料のグループウェア（ビジネス用SNS）のサイボウズライブを平成23年9月に設置した議会基本条例特別委員会から導入している。目的は議員相互の意

見交換、事前調査の活性化、資料の確認・配布を円滑に行うため。  
効果は、「インターネット上で資料確認ができるため、資料確認が迅速にでき、  
資料内容の改善を事前に行うことができた。」「委員相互の意見交換や認識を深  
めてから委員会に臨むことができた。」等。

・その他の取組には、「大学との連携」「議論の充実」「正副議長の立候補制度」  
「議会改革のためのアンケート調査」「政策提言・提案等の取組」「議会の情報  
発信の取組」「各種団体との懇談会」「議員研修の充実」「高校生議会」など多岐  
にわたる取組、働きかけをされている。

小野市議会において、採用可能なものは積極的に検討すべきと感じた。

平成29年 8月 8日

小野市議会議長 山中 修己様

議会運営委員会

山中 修己 ⑧

## 行政視察報告書

先般、実施しました議会運営委員会行政視察の結果について、下記のとおり報告いたします。

### 記

**1 視察実施日** 平成29年 7月24日（月）～平成29年 7月25日（火）

**2 視察メンバー**

前田光教委員長、富田和也副委員長、山本悟朗議員、岡嶋正昭議長、加島淳議員、川名善三議員、山中修己 以上7名  
随行者：岸本浩幸局長

**3 視察先及び調査内容**

(1) 京都府福知山市（人口：約7万9千人、面積：552.57Km<sup>2</sup>）

①議会運営と議会活性化の取組について

(2) 岐阜県可児市（人口：約10万1千人、面積：87.57Km<sup>2</sup>）

①議会運営と議会活性化の取組について

## 4 調査結果

### 【第1日】

京都府福知山市

人口：約7万9千人、面積：552.57Km<sup>2</sup>

#### ≪視察項目≫

##### ①議会運営と議会活性化の取組について

#### ≪視察内容≫

面接者：議会事務局庶務係長 田和昌弘氏

市議会議長 大谷洋介氏、

議会運営委員長 塩見卯太郎氏、同副委員長 高橋正樹氏、

議会改革委員委員長 奥藤あきら氏

議会改革度ランキングが2016年10位、2017年20位と絶えず上位にランクされている福知山市にお伺いし、議会の活性化と議会改革について教えていただいた。

福知山市は平成23年4月の選挙を終えてすぐの5月に「議会基本条例」策定のための検討に入られ、2年後の平成25年4月から基本条例を施行されている。基本条例の柱は①情報公開の推進 ②市民参加の推進 ③議会の機能強化の3点である。以下その3点につき、具体的に記す。

#### 1. 情報公開の推進について

① 議案賛否の公開…議会だより、市議会 HP に掲載

② 政務活動費の使途・収支報告の公開

…市役所情報公開コーナーに常備した。議会だより、HPにも掲載。  
全議員が参加し、市民・市職員対象に行政視察研修報告会を実施。

③ 役職選出にかかる所信表明会の実施

…正副議長、監査、各常任委員長は所信表明を行う。所信表明10分、質疑15分。

④ 委員会審査等ライブ中継・録画配信の導入

…予算・決算審査委員会、請願審査、役職選出所信表明会、委員会審査、行政視察研修報告会、議会行事等

⑤ 議長の議会広報活動

…記者会見、地元 FM 局の放送、地元高校生との懇談会(学校訪問)等実施。

#### 2. 市民参加の推進について

① 議会報告会の実施

…概ね年2回2会場で開催されている。平成27年からさらなる充実を目指し、各

種団体(婦人会、商工会議所、商工会、民生児童委員連盟等)と「座談会」(対話集会)形式で実施。参加人数はH23年度146人、H24年度116人、H25年度161人、H26年度35人、H27年度134人、H28年度75人となっている。

② 議会改革講演会実施

…大学教授を招き、講演と議員と市民とによるパネルディスカッション(大学教授はコーディネーター)を実施。

③ 出張委員会の実施

…各委員会が年1回、出張委員会を開催している。

④ 行政視察研修報告会の実施

…年2回、各委員会、会派による行政視察報告会を実施し、市民、担当部署の市職員と意見交換を行う。H27年から実施。

⑤ 高校生フレッシュ会議開催

…平成28年6月から選挙権の年齢が18歳に引き下げられたことを契機に、同年実施した。この企画は市民のアイデアを事業化したものである。因みに福知山市は市内に市立高校3校、私立高校3校と6校の高校がある。

⑥ 議員定数を考える市民意見交換会実施

…市議会議員報酬等検討委員会が主催し、市内4箇所で開催された。因みに現行定数は26名で次回選挙から24名(条例定数)となることが決まっている。

⑦ 傍聴者への取組の充実

…本会議、委員会で議案書、委員会審査資料、予算・決算の概要、主要事項説明書などを閲覧資料として配布。H27年4月から手話通訳を導入した。(希望者のみ)

### 3. 議会の機能強化

① 議決事項の充実

…市の総合計画及び市行政の各分野における政策・施策の基本的な計画について(行政内部の管理に関する計画、特定の地域を対象とする計画、5年未満の計画は除く)特別委員会の設置及び所管常任委員会への附託審査で審査する。

② 議員研修の充実

…(例)「地方議会の役割と課題」東大教授講演、  
「市民病院の現状と今後」病院長毎年講演、  
「議会改革研修」大津市議会議員講演、  
「ICTを活用した議員力の向上と議会の活性化」元逗子市議会議員講演等

③ 災害発生時の議会対応

…災害等発生時の議会対応要領を策定(26年2月)。

災害時の議員の主な役割としては、議員の安否連絡及び議員地元の状況を議長に連

絡、当局からの情報(当局の会議へは参加しない)を全議員へ伝達等である。

④ 自由討議の推進

…「自由討議実施要領」により、常任委員会の所管事項を実施対象とし、議員相互間の自由討議により合意形成をしている。合意形成の図られたものについては、議案提出及び委員長報告など、本会議に反映させる。

⑤ 請願審査の充実

…請願があった場合、請願者から説明を受ける場を設け、受付の内容等を HP に掲載する。

⑥ 議会政策検討会議の設置

…議会の政策提言及び政策立案を実現させるため、議員間の共通認識の醸成を図り、合意形成に資することを目的として、「政策検討会議」を設置した。

実績は1件。

4. その他(説明議員所感等)

- 議会報告会等はテーマにより、参加者にバラツキがあり、2～3人のときもある。
- 報告会での地域からの意見は、当局とすり合わせの上、議会から文書で回答している。(「市長への手紙」等はないので、整合性で問題になることはない。)
- 全体に検討項目が多く、議員、議会事務局共、土日出勤のケースがでてきた。
- タブレット端末は将来的には取り入れたい。現在、議会側のみ配布されている。なお、パソコンは議員個人負担であり、会派室には電話しかない。
- 高校生議会と共に中学生議会も実施し、実績としては中学校へのエアコン設置の要請があり、ほぼ全中学校に設置された経緯がある。
- 地域は9地区に分かれており、9中学校区がほぼ行政区域となっている。

《所 感》

積極的に活動されている印象である。流石に市議会改革度ランキング上位に位置づけられている市であると感じた。

其々の項目毎にできていること、できていないことがあり、参考にすべき点は多々あると思う。当市の場合、「議会基本条例」をつくらず、「申し合わせ事項」を充実させ、運用していくことになっているが、内容等については、今回の福知山市及び明日予定の可児市などを参考に、加除を定期的に行っていく必要があると感じている。

以 上

## 【第2日】

岐阜県可児市

人口：約10万1千人、面積：87.57Km<sup>2</sup>

### ≪視察項目≫

#### ①議会運営と議会活性化の取組について

### ≪視察内容≫

面接者： 議会事務局長 杉山修氏

市議会議長 澤野伸氏、議会運営委員長 川上文浩議員

共同視察となった豊岡市の主な面接者

豊岡市議会議長 福田嗣久氏、議会運営委員会委員長 椿野仁司氏

可児市はこのテーマでの視察が多く、私の経験では初めて、豊岡市と共同で視察をさせていただくことになった。この日の午後も2市が視察に訪れるとのことで、忙しいようであった。行政視察受け入れの内、約70%は議会改革関連のようで、前議長で現在議会運営委員長である川上氏1人で、議会関連の受け入れ、説明を受け持ちされているようであった。

以下、概要を記す。

#### 1. 可児市の議会改革の取組

H15.9 議会活性化特別委員会（H19.8で廃止）

H16.3 政務調査費使途基準の見直し

H17.6 一問一答・対面方式の導入

H17.12 常任委員会の機能充実

H19.3 議員定数削減可決

H19.9 費用弁償の廃止

H20.7 名城大学都市情報学部昇ゼミへの参加（大学との連携）

H20.8 議長交際費、政務調査費の公開（ホームページ、議会だより）

H21.2 議会改革調査研究PTを設置（H22.8で廃止）

H21.4 議会基本条例検討に向けた議員研修会（3回開催 4/30、6/24、9/26）

H21.5 本会議全ての議案の審議結果を議会だよりに掲載

H21.5 議員の活動範囲についてとりまとめ

- H21. 8 賛否一覧を掲載（ホームページ、議会だより）
- H21. 8 閉会中の委員会所管事務調査
- H21. 8 正副議長選挙における立候補制度の導入
- H22. 6 先例・申し合わせの見直し
- H22. 8 議員活動の範囲まとめ
- H22. 9 決算特別委員会を設置し決算審査を実施
- H22. 12 議会基本条例調査研究PTを設置（H23. 5で廃止）
- H23. 2 予算特別委員会を設置し予算審査を実施
- H23. 2 「議会改革のためのアンケート調査」を実施
- H23. 6 議会基本条例調査研究プロジェクトチーム提言書の答申
- H23. 8 「議会改革のためのアンケート調査」の結果を公表
- H23. 9 議会基本条例特別委員会の設置（H25. 3で廃止）
- H23. 10 サイボウズライブ（グループウェア）を活用した議員間の意見交換と資料提供
- H24. 2 第1回議会報告会の実施（広見公民館 2/12）
- H24. 5 第2回議会報告会の実施（福祉センター5/26・帷子公民館 6/2）
- H24. 6 本会議のインターネット配信開始（ユーストリーム・ユーチューブ）
- H24. 6 予算決算委員会を設置し審査を実施
- H24. 10 議会基本条例(案)パブリックコメントおよび市民説明会の実施
- H24. 12 議会基本条例の制定（施行はH25. 4～）
- H25. 3 議会会議規則の見直し
- H25. 4 議会基本条例の施行
- H25. 4 グーグルカレンダーを利用した議会予定の公表
- H25. 5 第3回議会報告会の実施（姫治 5/12・桜ヶ丘 5/17・兼山公民館 5/18）
- H25. 5 先例・申し合わせの見直し
- H25. 6 政治倫理に関する研修会
- H25. 8 議会フェイスブックページの開設



- H25. 8 議会ホームページの全面更新
- H25. 8 政治倫理規程の制定
- H25. 8 委員会会議録のインターネット公開開始
- H25. 11 第4回議会報告会の実施（春里 11/9・下恵土 11/10・平牧公民館 11/16）
- H25. 10 議会改革調査研究プロジェクトチーム設置（定数・報酬・委員会のあり方）
- H25. 12 委員会のインターネット配信開始（ユーストリーム・ユーチューブ）
- H26. 2 高校生議会の開催（地域課題解決型キャリア教育支援事業）
- H26. 3 議会改革調査研究PT中間報告・議員派遣による研修結果報告会の開催
- H26. 5 第5回議会報告会の実施（広見 5/17・土田 5/18・帷子公民館 5/24）
- H26. 7 地域課題懇談会の開催  
（地域課題解決型キャリア教育支援事業／可児医師会協力）
- H26. 7 議会改革調査研究プロジェクトチーム最終報告  
（定数・報酬・委員会のあり方）
- H26. 7 議会提案の空き家等の適正管理に関する条例（案）のパブリックコメント  
実施
- H26. 7 プロジェクトチーム最終報告に基づく議会運営委員会から議長への答申  
実施
- H26. 8 議会提案による空き家等の適正管理に関する条例の制定
- H26. 9 議会活性化特別委員会の設置（定数・報酬・委員会のあり方）
- H26. 11 第6回議会報告会の実施（川合 11/16・久々利 11/22・広見東公民館 11/23）
- H27. 2 高校生議会の開催（地域課題解決型キャリア教育支援事業）
- H27. 5 議会のトビラ発行（議会だよりリニューアル）
- H27. 5 第7回議会報告会の実施  
（総合会館 5/17・帷子公民館 5/23・桜ヶ丘公民館 5/24）
- H27. 6 地域課題懇談会の開催（可児金融協会共催）
- H27. 10 議会改革特別委員会の設置（基本条例運用・懇談会／報告会のあり方等）

- H27.10 議員定数報酬検討特別委員会の設置
- H27.11 第8回議会報告会の実施（市内6公民館）
- H27.12 地域課題懇談会出前講座（18歳選挙権）の開催
- H28.1 「第2回議会改革のためのアンケート調査」を実施
- H28.2 高校生議会の開催（地域課題解決型キャリア教育支援事業）
- H28.7 地域課題懇談会の開催（可児商工会議所共催）
- H28.8 ママさん議会の開催

## 2. 主な取組(抜粋)

- 1) 大学との連携の取組(H20年7月～)
  - …議員が名城大学のゼミに参加し、地方自治や時事問題について意見交換を行う。
- 2) 議論充実のための取組(H17年6月～)
  - …議案ごとに一括質問、一括答弁方式とし、再質問から一問一答方式とする方法と議案毎に一問一答方式の選択制を採用
- 3) 正副議長立候補制度(H21年8月～)
  - …立候補演説10分、質疑10分、公開で動画配信。
- 4) 議会改革のためのアンケート調査(H23年2月実施、8月公表、2回目H28年実施)
  - …市民の声が市議会に反映されているという認識が少ないことが判り、「議会の見える化」の推進を行った。
- 5) 「政策提言・提案などの取組」
  - …委員会からの附帯決議及び提言委員会において自由討議を実施し附帯決議や提言内容を決定。本会議で採決又は報告を行う。
  - (例)・決算審査による予算編成への提言
    - ・子どものいじめ防止に関する条例
    - ・空き家等の適正管理に関する条例
- 6) 議会報告会の実施(H24年2月～)
  - …年2回実施している。
- 7) 議会情報発信の取組
  - …議会だよりフルカラー化、ケーブルテレビ、FMラジオ、HP、ユーチューブ、  
グーグルカレンダー、議会フェイスブック
- 8) 各種団体との懇談会
  - …常任委員会が中心となり、関係団体(公民館長、民生委員、道の駅など)との

懇談会を実施。

9) 「定数・報酬・委員会のあり方」の調査研究の実施(H25年10月)

…議長諮問により、議運がPTを設置し、専門的知見、市民との意見交換を経て、報告書を作成、提言した。(平成27年6月)

10) 地域課題懇談会(高校生議会)(H27年6月～)

…若い世代の意見を聴く機会を設け、地域の活性化や課題に取り組むことで、地域の担い手育成に繋げていくことを目的として、議会主催のキャリア教育支援の取組を地域課題懇談会として実施。

3. 今後の取組

1) 議員定数報酬の調査研究の継続

2) 地域課題懇談会の継続実施

…各種団体と高校生、議員による地域課題の意見交換、18歳選挙権に関する出前講座、ママさん議会の実施

3) 若い世代との条例づくり等

《所 感》

豊岡市との合同視察という初めての取組であったが、実際は議運委員長であり前議長の川上文浩議員の講演会の様相であった。内容は素晴らしい活動をされている議会であると感じた。議会で問題点を抽出し、それらの解決点を見出すべく、積極的に活動されている点、ある種の凄さを感じた次第である。

彼が言われた言葉で、印象に残っており、参考にしたい考え方を記し、所感としたい。

- ・座右の銘は「現行一致」
- ・議会改革よりも議会活動の活性化が重要
- ・議会活動の活性化には議員を常勤化するべきである。
- ・若い人の就職に関する重要事項は「保証」である。
- ・条例づくりは当局の力を利用させてもらっている。議会事務局へ再任用の人を増員してもらおうべく、依頼している。当局の実力は素晴らしい。
- ・市民団体との意見交換会はグループ形式がよい。

以 上